のびる芽

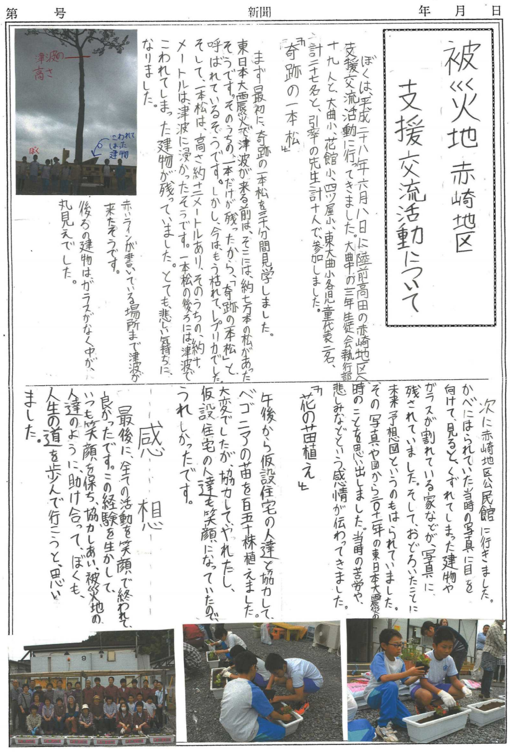
大仙市立花館小学校
NO.１３
平成２８年７月７日

学校教育目標　「ひとりでできる　みんなとできる　あすにむかって　今　せいいっぱい」

7月に入りました。蝉の声，プール学習での水しぶきの音と子どもたちの歓声が夏を感じさせてくれます。あっという間の３ヶ月と感じているのは，私だけでしょうか。子どもちは，保護者の皆様方のご協力も得て毎日の多様な経験を通して確実に成長しています。明日は，学習公開日で今年度初めての弁当の日でもありますし夏休みの過ごし方等を確認する機会でもあります。子どもたちの成長の様子をご覧いただき次への意欲を高める励ましの機会にしていただきたいと思っています。多数の参加をお待ちしております。

赤崎中・赤崎地区被災地支援交流活動

本誌10号でご紹介した６年生二人が被災地交流の様子を新聞に書いてくれましたので紹介します。
小さくて見えにくく大変申し訳ありません。
実物は１階エレベーター左横面にありますので明日の学習公開の際にご覧ください。



第　　号　　新聞　　年　月　日

被災地 赤崎地区 支援交流活動について

ぼくは、平成二十八年六月八日に陸前高田の赤崎地区へ支援交流活動に行ってきました。大曲中の三年生徒会執行部十九人と、大曲小、花館小、四ツ屋小、東大曲小各児童代表二名、計二十七名と、引率の先生計十人で、参加しました。

『奇跡の一本松』

まず最初に、奇跡の一本松を三十分間見学しました。東日本大震災で津波が来る前は、そこには、約七万本の松があったそうです。そのうちの一本だけが残ったから、「奇跡の一本松」と呼ばれているそうです。しかし、今はもう枯れて、レプリカでした。そして、一本松は、高さ約二十七メートルあり、そのうちの、約十一メートルは津波に浸かったそうです。一本松の後ろには、津波でこわれてしまった建物が残っていました。とても、悲しい気持ちになりました。

赤いラインが書いている場所まで津波が来たそうです。後ろの建物はガラスがなく中が丸見えでした。

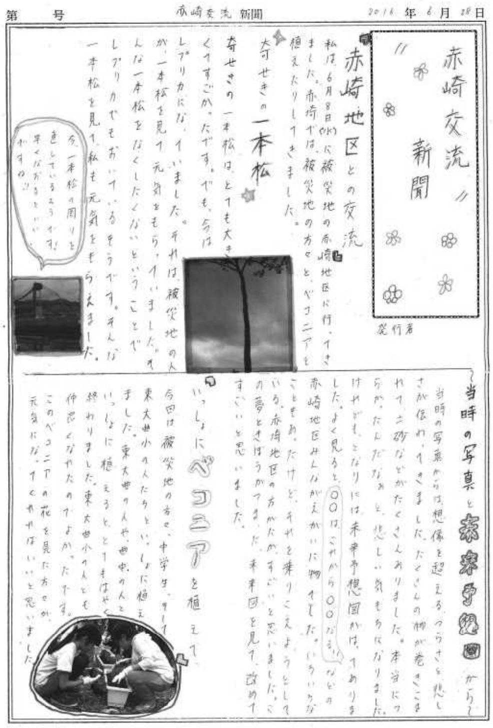
次に赤崎地区公民館に行きました。かべにはられていた当時の写真に目を向けて見ると、くずれてしまった建物やガラスが割れている家などが、写真に残されていました。そして、おどろいたことに未来予想図というのもはられていました。その写真や図から二〇十一年の東日本大震災の時のことを思い出しました。当時の苦労や、悲しみなどという感情が伝わってきました。

『花の苗植え』

午後から仮設住宅の人達と協力して、ベゴニアの苗を百五十株植えました。大変でしたが、協力してやれたし、仮設住宅の人達も笑顔になっていたので、うれしかったです。

感想

最後に、全ての活動を笑顔で終われて良かったです。この経験を生かして、いつも笑顔を保ち、協力しあい、被災地の人達のように、助け合って、ぼくも、人生の道を歩んで行こうと、思いました。



第　　号　　赤崎交流 新聞　　2016 年 6 月 28日

〃赤崎交流新聞〃

発行者

赤崎地区との交流

私は6月8日(水)に被災地の赤崎地区に行ってきました。赤崎では、被災地の方々とベゴニアを植えたりしてきました。

奇せきの一本松

奇せきの一本松はとても大きくてすごかったです。でも、今はレプリカになっていました。それは被災地の人が、一本松を見て元気をもらっていました。そんな一本松をなくしたくないということでレプリカでもおいているそうです。そんな一本松を見て私も元気をもらえました。

今一本松の周りを直しているようです！早くなおるといいですね!!

〜当時の写真と未来予想図から〜

当時の写真からは想像をこえるつらさと悲しさが伝わってきました。たくさんの物が巻きこまれて土砂などがたくさんありました。本当につらかったんだなあと、悲しい気もちになりました。けれども、となりには未来予想図がはってありました。よく見ると、〇〇はこれから〇〇になる！などの赤崎地区みんながえがいた物でした。いろいろなことがあったけど、それを乗りこえようとしている。赤崎地区の方がたがすごいと思いました。この夢ときぼうがつまった未来図を見て、改めてすごいと思いました。

いっしょにベゴニアを植えて

今回は被災地の中学生、そして東大曲小の人たちといっしょに植えました。東大曲小の人や赤崎中の人といっしょに植えるととてもはやく終わりました。仲良くなれたのでよかったです。このベゴニアの花を見た方々が元気になってくれればいいなと思いました。

また，仮設住宅に飾るために２枚の絵画を制作しました。今回は，大曲中学校美術部で活動している○○○○さん，○○○○さん（1年）に教えていただきながら６年生が描きました。20日に大船渡市の赤崎地区に飾りに行きます。
この力作も，新聞と同じ場所に飾りますので明日ご覧ください。

「水泳学習」始まる　7/4～

子どもたちが待ちに待った水泳の学習が始まりました。今季一番にプールに入ったのは，なんと１年生でした。最初はやや風があり水から上がるとちょっと寒さを感じるかなと思われる天候でしたが，次第に日も差し気温も上がり元気に初プールを楽しみました。
その後，各学年が入り本格的な学習が始まりました。水泳は全身運動で，体力づくり体のバランスを保つ等とてもいい運動ですし，泳げることは命を守ることにもつながります。体育での学習はもとより夏休み中もたくさん泳いで体を鍛えてくれることを期待しています。

「大仙ふるさと博士育成」について

市教育員会ではこのほど，大仙市教育メソッドのねらいである「ふるさとを愛する心の育成地域の将来を担う人材の育成」の実現に向けて「大仙ふるさと博士育成」事業を立ち上げました。趣旨と具体的な活動についてお知らせいたします。間もなく事業についてのパンフレット，パスポート等をお配りしますが，夏休みからスタートする予定ですので，自由研究等に積極的に活用してほしいものです。

１ ねらい

地域行事への参加や，企業・施設等での見学・体験など，地域と関わる活動を通じて，ふるさとを愛する心を育て，地域の将来を担う人材の育成を目指します。

２ 対　象　大仙市内の児童生徒（小学校３年生～中学校２年生）

３ 訪問先　企業，文化財，施設，異校種，公民館主催の行事，地域行事等

４ 訪問日　土曜日，日曜日，祝日，長期休業日等，訪問先で定めた日，学校で定めた日等

５ 活動への参加の仕方

（１）訪問前

①大仙市教育委員会で作成した訪問・体験先リストを参考に，訪問先を選ぶ。
②（必要に応じて）個人で直接申し込む。（グループや学校単位でも可）

（２）訪問当日

①訪問時はハローパスポートを持参し，本人確認をしてもらう。
②活動終了後に，訪問先の担当者からハローパスポートに認印をもらう。

（３）訪問後

①記録用紙に振り返り（日時，活動内容，ポイント数，発見や疑問等）を記入し，ハローパスポートと一緒に学校に提出する。
②学校は記録の内容を確認し認印を押す。

６ 大仙ふるさと博士の認定

（１）活動をポイント制で評価する。見学や参加のみは１ポイント，体験活動が含まれていれば２ポイント，訪問先や地域等に貢献するような活動をした場合は３ポイントとする。なお，ポイント数は子どもの申請を基に学校が認定する。
（２）大仙市教育委員会は，ポイントの合計に応じて，「大仙ふるさと博士」に認定し，記念の缶バッジと認定証を贈る。
（３）認定基準は８ポイントで大仙ふるさと博士初級（来年度以降は１０ポイント），３０ポイントで大仙ふるさと博士中級，６０ポイントで大仙ふるさと博士上級とする。１００ポイントに達した場合は大仙ふるさと名誉博士に認定する。
（４）ポイントは年度が切り替わっても積算されていくものとする。

７ 参加に当たっての留意点

（１）必ず保護者の承諾を得て参加する。訪問先まで送迎が必要な場合は保護者が行う。
（２）受け入れ側が示す条件に合わせること。（訪問日，時間，人数，体験内容等）
（３）学校の職場体験等で利用しても構わない。

＜今せいいっぱい＞　＜結果＞

秋田県少年少女陸上競技大会　7/3　念願の決勝進出を果たし入賞
女子400mリレー　８位　60秒49　〇〇〇〇，〇〇〇〇〇，〇〇〇〇，〇〇〇〇（6年）

秋田市八橋陸上競技場
花館
262
263
265

第20回大曲仙北小学生学年別剣道大会　7/2
６年生の部　準優勝　〇〇〇　〇（6年）
２年生以下の部　敢闘賞　〇〇　〇〇（2年）

第14回鹿島台カップ宮城県小中学生バドミントン大会　7/3
小学４年生以下女子Ａの部　準優勝〇〇〇〇〇〇（4年）大曲スピリッツ

秋田ゼロックス杯争奪第19回秋田県小学生柔道選手権大会　7/3
６年男子の部　敢闘賞　〇〇　〇〇（6年）

＜予定＞

第58回大曲仙北スポーツ少年団選抜野球大会
７月９日（土）　対　西木　9:00～　神岡野球場
勝利の場合　同日　対　東大曲　14:00頃　中川原第1球場
勝利の場合　10日（日）9:00～　準決勝・決勝　中川原第1球場